

南岩手交流プラザリニューアル事業 既存展示の取扱いについて

①観光案内カウンター 観光ガイド団体のスタッフが、市内観光名所の紹介や交通手段、宿泊施設などの情報を提供しています。開設時間は午前9時から午後5時まで。平成30年からJNTO認定外国人登録案内所の認定を受けています。また、令和7年2月からはデジタル観光マップも設置されました。 ⇒基本的に無人化し、施設内にリモート対応が可能なデバイスを設置。	
②土産品コーナー 奥州市のお土産品を展示しています。それぞれのQRコードを読み込むと、商品の詳細ページにアクセスすることができます。 ⇒現物展示からデジタル化を検討。	
③大谷翔平/企画展示コーナー ガラス窓が設置されている展示コーナーです。現在は、大谷将平選手応援コーナーと奥州大使の紹介コーナーとして利用しています。 ⇒大谷翔平選手応援コーナーは施設内に存続。	
④南部鉄器コーナー 南部鉄器紹介コーナーとして、特別な意匠を施しています。平成11年の大規模改修の際に設置されたと見られます。 ⇒既存設備の利活用の有無も含め、事業者提案によるデジタル化。	

⑤ふるさと納税コーナー 奥州市のふるさと納税を紹介するコーナーです。QRコードを設置し、ふるさと納税サイトにアクセスできるようになっています。 ⇒現物展示からデジタル化を検討。	
⑥子供騎馬武者鎧 昭和11年に始まり、毎年5月に開催される子供騎馬武者行列の鎧を展示しています。 ⇒現物展示からデジタル化を検討。	
⑦岩谷堂箆笥/茶文化プロジェクトコーナー 岩谷堂箆笥と茶文化プロジェクト（奥州市、仙北市、掛川市、多治見市）の茶器・パネルを展示しています。 ⇒現物展示からデジタル化を検討。	
⑧日高火防祭模型展示コーナー 岩手県指定無形民俗文化財である日高火防祭を紹介するコーナーです。展示している模型は、旧水沢市時代に市民や企業からの寄附金で作成したもの。メインのはやし屋台模型は左右に「屋台振り」を見せてくれます。 ⇒移動・撤去せず、デジタル技術を活用して未来感を演出する。 (想定：プロジェクションマッピング等により日高火防祭の昼夜の様子を表現)	 

⑨農産品コーナー 地元の農産品を紹介するコーナーです。 ⇒現物展示からデジタル化を検討。	
⑩地元企業紹介コーナー 奥州市内の企業の製品などを展示・紹介するコーナーです。展示する企業は、1年ごとに入れ替わっています。 ⇒現物展示からデジタル化を検討。	 
⑪くつろぎコーナー 囲炉裏風のベンチがあるくつろぎコーナーです。大谷選手関連パネルやロケ関係展示、ILCプロジェクトパネルなどを置いています。 ⇒飲食可能なコーナーを兼ねた、企画・イベントコーナーとしての活用を検討。	

⑫大瀧詠一コーナー

令和2年10月から駅の発車メロディが、大瀧詠一の「君は天然色」となったことを記念し始まった「大瀧詠一企画展」を、常設展示しているものです。

江刺大瀧詠一顕彰会会長である高橋晋氏の私物コレクションを展示しており、非売品や入手困難なプレミアム品も並んでいます。

関係団体：江刺大瀧詠一顕彰会

⇒発車メロディを紹介。

現物展示は常設から期間限定の企画へ移行。

プラザ内のBGMとして、曲利用を検討。



⑬待合スペース

中央部分は駅の待合スペースを兼ねており、大谷選手を取り上げた新聞記事を展示しています。

また、入ってすぐの床面にはフロアラッピングを施しています。

⇒座るところを増やし、快適性を向上させる。

フロアラッピングは、駅構内からのプラザ来場を促すようなデザイン・仕掛けとし、内容については事業者提案による。

施設は午前6時から午後10時まで利用することができますが、午前9時から午後5時までを除くと、シャッターを閉扉し、中央部分のみの利用としています。

⇒防犯カメラ等の対策を取ることで、シャッターを閉扉する必要がなくなり、施設全体を全時間帯で利用できるようになる。

なお、シャッター閉扉の有無は事業者提案による。



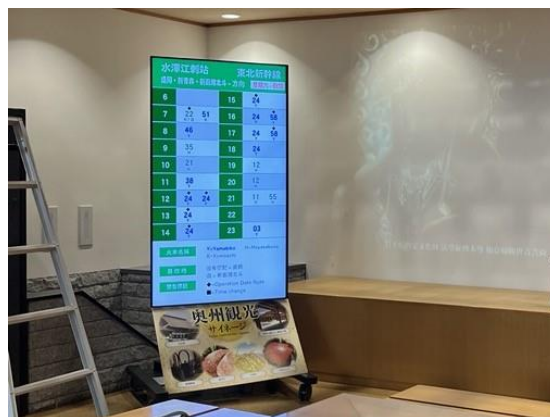
開 閉

⑭デジタルサイネージ

くつろぎコーナーには、奥州市や近隣市町の情報を表示するデジタルサイネージが設置されています。配信内容は、市が業務委託している設置事業者が作成したものです。

ネットワークは無線 LAN による接続です。

⇒継続利用の有無は、事業者提案による。



⑮デジタル観光マップ

観光案内カウンター脇には、多言語での表示が可能なデジタル観光マップが設置されています。ネットワークは有線 LAN で接続しています。(内閣府交付金対象事業)

⇒継続利用の有無は、事業者提案による。

